

2011年9月30日

日本空港ビルディング株式会社

## 羽田空港国内線 第2旅客ターミナル 3階 ディスカバリーミュージアム 第5回企画展について

日本空港ビルディング株式会社は、昨年10月13日(水)に供用開始いたしました第2旅客ターミナル本館南側拡張部分3階に国内空港初となる空港内美術館「ディスカバリーミュージアム」を開設し、ご利用のお客さまからご好評をいただいております。

今回の第5回企画展は「それぞれの道、守るべき徳 忠臣蔵展」。赤穂義士の吉良上野介邸への討ち入り後、幕府の沙汰が決するまでの49日間、大石内蔵助をはじめとする17人の義士を預かったのは、細川家でした。永青文庫が所蔵する約50,000点の歴史文書の中から、大石内蔵助・吉良上野介・細川綱利という、実際に元禄赤穂事件に関わった武士たちのそれぞれの目線で真実に迫る、貴重な史料を展示します。

ディスカバリーミュージアムで臨場感に溢れる「忠臣蔵」を体感してください。

### 記

1. 次回企画展 「それぞれの道、守るべき徳 忠臣蔵展」(入場無料)
2. 期 間 【第1部】2011年10月 7日(金)～2011年11月20日(日)(期間中無休)  
【第2部】2011年11月23日(水)～2012年 1月 9日(月)(期間中無休)  
※第1部と第2部では、一部の作品を除き異なった作品を展示いたします。  
※展示替え作業のため、11月21日(月)・22日(火)は休館させていただきます。
3. ディスカバリーミュージアム概要
  - (1) 場 所 第2旅客ターミナル3階 南端
  - (2) 開館時間 平 日 11:00～18:30(最終入場18:00)  
土日祝祭日 10:00～18:30(最終入場18:00)
  - (3) 電話番号 03-6428-8735
  - (4) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

以 上

※ 永青文庫・・700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。

【本件に関するお問い合わせ先】  
日本空港ビルディング株式会社  
事業開発・運営本部  
施設管理部 広告・イベント課  
電 話 (03) 5757-8520

【主要作品】※第1部と第2部では、一部の作品を除き異なった作品を展示いたします。



おおいしくらのすけしよじょう  
大石内蔵助書状

／元禄14年(1701)5月3日

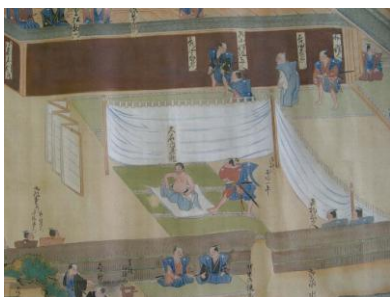
大石内蔵助、直筆の書状。藩の一大事に、赤穂藩の馬廻役であった千馬三郎兵衛に宛てた手紙。赤穂城の明け渡しにあたり、赤穂藩士たちが他国へ移動するための証文の発行など、内蔵助が残務処理に奔走していることが窺える一通。



ほそかわつなとしよじょう  
細川綱利所用

あさぎいとおどしりゅうらちだしにまいどうぐそく  
浅葱系威龍打出二枚胴具足

討ち入り後に大石内蔵助ら赤穂義士17人を預り、彼らのことを、最後まで義士としてもてなした当主綱利。学問を好み、能楽や茶道に秀でた殿様らしく、機能美を追求した美しい逸品である。



ぎしせつぷくのず  
義士切腹之図／江戸時代

元禄16年(1703)2月4日。切腹当日の細川家下屋敷の内部を描いた絵。今、まさに内蔵助が切腹しようとしている。

美術館展示初  
宗徧流に伝わる  
秘蔵の釜



りきゅうしよじょう しほうがま  
利休所持 四方釜／桃山～江戸時代

吉良上野介、人生最後となるお茶のお湯を沸かした茶釜。この茶会に、千利休の孫、宗旦の弟子 山田宗徧が持参したのは、利休伝来の名物 辻与次郎作 四方釜だった。利休が愛した茶釜は討ち入りの目撃者となった。



はくいんひつ むじ  
白隠筆《無字》／江戸時代

藩主綱利は、内蔵助というリーダーを屋敷にむかえ、どのような気持ちですごしていたのだろうか。そして、討ち入り後の内蔵助の心境は…。本懐を遂げた後、内蔵助の心に浮かんだ文字は「無」なのかもしれない。